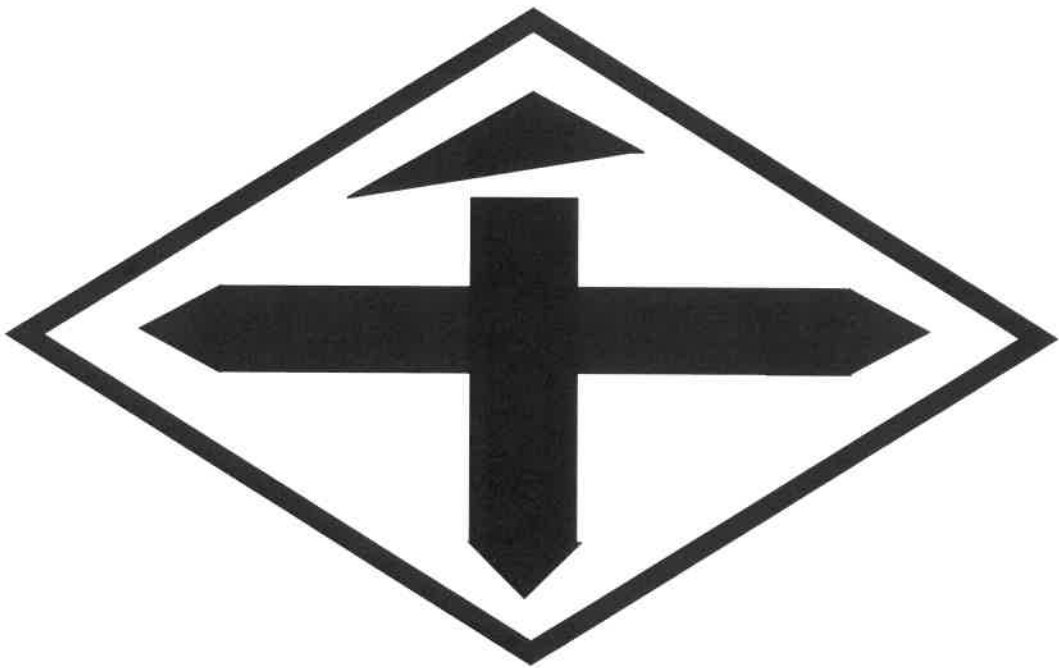


令和4年度

後期学校評価結果報告



八幡浜市立千丈小学校

令和4年度 学校関係者評価委員名簿

八幡浜市立千丈小学校

1 P T A 関係者

○ P T A 会長 木藤真世（松柏）

2 地域団体関係者

○ 千丈公民館長 阿部権治（松柏）

○ 青少年補導員地区長 菊川善文（松尾・稲ヶ市）

○ 主任児童委員 向井純子（郷）

○ 民生児童委員 田中良三（松柏）

○ 松柏中学校長 高田宗典（松柏中）

第3回 学校関係者評価委員会

八幡浜市立千丈小学校

1 日 時 令和5年1月12日(木) 18:00~18:30

2 場 所 千丈小学校 校長室

3 参加者 P T A会長 木藤 真世 千丈公民館長 阿部 権治
民生児童委員 田中 良三 主任児童委員 中井 博枝(代理)
青少年補導員 菊川 善文 松柏中学校長 高田 宗典

4 内 容

(1) 開会あいさつ(校長)

前期アンケートと比較をして考察している。学習面、生活面や学校運営について、忌憚のないご意見をいただき、学校がよりよくなるよう改善をしていきたい。

(2) 後期学校評価報告(教頭)※別紙参照

学校評価アンケートを総合的に見ると、児童の評価は向上し、保護者の評価は低下していた。保護者への様々な啓発や働き掛けが足りなかった。

(3) 意見交換(各委員様より)

詳細なデータから分析をしている。前期の結果を受けてのPCDAサイクルが見える。

データをまとめたり、分析したりするために大変な労力を使われていることが分かる。もっとチェック項目やポイントを絞って、負担軽減を図るとよい。

地域で子どもの姿を見ると、成長が分かるときがある。特に1年生は、歩く姿の足取りも力強くなり、あいさつもはっきりできるようになってきた。

(4) その他
特になし

(5) 閉会あいさつ(校長)

児童の評価が向上し、安心している。保護者の評価が数%ではあるが、厳しくなっている部分がある。少ない所にもフォローを入れながら、全教職員で対応していきたい。

令和4年度 後期学校評価アンケートまとめ

1 各項目についての考察

(1) 今日が楽しく、明日が待ち遠しい学校について

前期同様、児童、保護者ともに、おおむね高評価となっている。特に、児童は3、4のマイナス評価の割合が減少している。あと数名、マイナス評価の児童がいることに目を向け、すべての児童が充実した学校生活を送ることができるよう配慮していきたい。

(2) 基礎・基本の定着について

児童の授業についての項目は、おおむね高評価となっており、1と回答している児童が増加している。また、宿題や自主学習についても、評価が向上しており、児童の学習への頑張りが見える。

以下は、23が平日（月～金）、24が休日（土、日、祝日）の家庭学習時間、25が読書の日（月曜日）の読書時間である。家庭での学習や読書については、個人差や様々な家庭の事情もあるが、学校の取組として、「まったくしない、読まない」の児童がいなくなるよう継続した指導をしていきたい。

		3時間以上	2時間～3時間	1時間～2時間	30分～1時間	30分以内	まったくしない
23	前期	3%	9%	29%	45%	11%	3%
	後期	1%	5%	22%	57%	13%	2%
24	前期	1%	13%	21%	35%	26%	4%
	後期	2%	17%	26%	28%	22%	5%

				1時間以上	30分～1時間	30分以内	まったく読まない
25	前期			18%	59%	22%	2%
	後期			19%	48%	32%	1%

(3) 思考力・判断力・表現力の育成について

chromebookに関する質問（児6、7）は、評価が大きく向上し、授業中のICTの活用が定着してきたことが分かる。従来の授業（発表、ノート、話し合い活動等）とのバランスを考えながら、よりよい令和型の授業スタイルを確立していけるよう、全校体制で研修を深めていきたい。

(4) 命を大切に教育の推進について

前期と同様に、児童と保護者のゲームやSNSの利用についての回答にずれがある。（児20保18）家庭でのルール作りにポイントを絞った指導・啓発を進めたい。また、ゲームやSNSの利用時間が長い児童を特定することができるので、個別の指導も粘り強く行っていきたい。

防災教育については、避難訓練や授業等を通して、学校内での行動は、ある程度の理解ができていると思われる。しかし、前期アンケート同様、家庭での対応については、課題が残る。4年生が総合的な学習の時間で、重点的に防災教育を行い、家庭への啓発も行っていった。機を見て、全校的な啓発を行い、マイナス評価を減らしていけるようにしていきたい。

(5) 子どものよさや可能性を伸ばす教育の推進について

児童、保護者ともに、教職員との信頼関係はおおむね良好だと言える。しかし、少数ではあるが、保護者のマイナス評価が増加している。また、教職員に対して、相談しにくさを感じている児童がいることも気になる。言葉掛けや接し方など今後も配慮していきたい。

(6) 家庭との協力について

前期同様、どの項目（あいさつ、基本的生活習慣、お手伝い）についても一定数のマイナス評価がある。特にお手伝いの習慣化については、前期からの課題としていたが、あまり改善は見られていない。家庭学習と連動する形で、全校的な視点での取組を計画し、家庭の連携した取組ができればいいと思う。具体的な方法について検討していきたい。

2 今後の目標と対策

(1) 前期からの目標と成果

〈前期からの目標〉

後期学校評価アンケートでのマイナス評価「3…あまり思わない」「4…まったく思わない」の割合を減らすとともに、平均値が1.50未満となるようにする。

【結果】

〈マイナス評価の割合の合計〉

	前期	後期	成否
児童	160%	127%	○
保護者	135%	148%	×

〈各項目の平均値の平均値〉

	前期	後期	成否
児童	1.40	1.35	○
保護者	1.51	1.53	×

児童の回答については、マイナス評価の割合の減少及び平均値の減少が見られ、評価の向上が見られた。しかし、保護者については、残念ながら評価が下がる結果となった。対策としていた、「防災関係、ゲーム・SNSのルール、お手伝いについての啓発」が、効果的にできていなかったことが考えられ、マイナス評価の改善もあまり見られなかった。一方、児童については、対策としていた「授業改善→主体的・対話的な活動、ICT活用」の効果が表れたことや、全体的に落ち着いた2学期だったことが、評価の向上につながったと考えられる。

(2) 対策

対策については、前期同様、現在の取組の見直し・継続を基本とし、新たな取組等で、児童、教師、保護者の負担が増えないように配慮する。しかし、保護者に対しては、児童の宿題と連動した取組（一人一台端末の活用等）を考え、親子の会話を通して、啓発をしていきたい。

- ① 校報、学級通信、宿題（一人一台端末）等で啓発→防災関係、ゲーム・SNSのルール、お手伝い
- ② 授業改善→主体的・対話的な活動、ICT活用の継続

マイナス評価減少

マイナス評価増加

0.1向上

0.1悪化

令和4年度後期学校評価 教育計画に基づいた考察

はい ← → いいえ

		1	2	3	4	計	平均	
1 今日が楽しく、明日が待ち遠しい学校								
児1	学校に行くのは、楽しい。	前期	73%	22%	4%	2%	102	1.35
		後期	74%	23%	2%	1%	96	1.30
保1	お子様は、楽しく学校に通っている。	前期	68%	31%	1%	0%	93	1.33
		後期	75%	24%	1%	0%	91	1.26
<p>ほとんどの児童が楽しいと答えているので、いいと思う。楽しくないと答えている児童が、楽しくなるように配慮していきたい。</p> <p>ほぼ肯定的な意見がでているのでよい。否定的意見の児童3名は話を聞き、対応したい。なぜそう思うのか、話を聞くだけでもよいと思う。</p> <p>感染症対応で出席停止になる児童はいたものの、先生方の感染対策のお陰で学校内での感染拡大はみられず、元気に登校できた。</p>								

2 基礎・基本の定着（授業・チャレンジタイム・補充学習・読書活動）									
児2	授業には、楽しく参加している。	前期	75%	20%	2%	3%	102	1.32	
		後期	79%	17%	4%	0%	96	1.25	
児3	授業は、分かりやすい。	前期	68%	30%	1%	1%	102	1.35	
		後期	76%	22%	2%	0%	96	1.26	
児19	家で、毎日、宿題や自主学习などの勉強をがんばっている。	前期	70%	25%	6%	0%	102	1.36	
		後期	73%	22%	3%	2%	96	1.34	
児23	平日（月～金）の家庭学習時間はどれくらいですか。（塾、家庭教師の時間は含む。読書は含まない。）	前期							
		後期							
児24	休日（土、日、祝日）の家庭学習時間はどれくらいですか。（塾、家庭教師の時間は含む。読書は含まない。）	前期							
		後期							
児25	読書の日（月曜日）には、どれくらいの時間、本を読んでいますか。	前期							
		後期							
保2	学校は、基礎学力の定着と学力向上に努めている。	前期	63%	35%	1%	0%	93	1.38	
		後期	77%	21%	2%	0%	91	1.25	
保16	お子様は、読書の日（月曜日）には、本を読んでいる。	前期	54%	37%	10%	0%	93	1.56	
		後期	49%	34%	14%	2%	91	1.69	
保17	お子様は、宿題や自主学习（予習・復習等）をする習慣を身に付けている。	前期	48%	38%	14%	0%	93	1.66	
		後期	45%	42%	10%	3%	91	1.71	

読書については個人差が大きく、なかなか家庭で実践できない児童（特に高学年）がいるので、学校でも読書する時間を確保していくことが必要である。また、課題学習で、文章を読まなければ解けない問題を出すなど、文章を読ませるための工夫をしていきたい。

学習や読書の時間は、集中できる時間に学年差があると思うのでまとめてグラフ化することは難しいと思う。上学年と下学年、または低・中・高に分けると良いのでは。

主に学力アップ週間に自主学習に取り組んでいる。「けてふれ」学習法を奨励したり、自主学習ノートを見合ったりすることで、時間だけでなく内容も充実させていきたい。

けてふれ自主学習の仕方などの共通理解のもと、各学年で指導を続けた結果、自主学習の良い習慣が身に付いてきたと思う。主体的に学ぶ態度を育てるために、今後も引き続き指導していく。

読書や家庭学習の習慣の定着のために、児童に繰り返し、呼びかけをしていく。

授業を楽しんでいる児童が多くよかった。

図書室の利用においては個人差が大きい。月に一回の移動図書館を子どもたちは楽しみにしている様子であるので、子どもたちの興味を持てるような図書をそろえたい。先生方にも隙間時間によく読書をさせてもらっているので、今まで通り子どもたちの読書意欲が高まるように促していきたい。

家庭学習についても読書についても個人差が生じてきているのではないかと思う。特に、高学年は読まない子もいるのかもしれないが、他の宿題や課題もあるため、「読書の日」として正式に設定できているのは学力アップ週間の月曜のみである。他の月曜日の様子なども想起され、否定的な回答が見られたのかもしれない。その日は、情報端末を置いて読書に浸るといってもよい取組であるため、目安の時間をより分かりやすく児童や家庭に提示するなどし、読書活動をより推進していきたい。

3 思考力・判断力・表現力の育成（主体的・対話的で深い学び、授業改善）

児4	授業で意欲的に自分の思いや考えを発表したりノートに書いたりしている。	前期	53%	36%	8%	3%	102	1.61
		後期	54%	35%	10%	0%	96	1.56
児5	授業では、学級の友達と話し合う活動（ペア・グループ）をよくしている。	前期	75%	24%	1%	0%	102	1.25
		後期	73%	25%	2%	0%	96	1.29
児6	授業では、chromebook（クロムブック）をよく使っている。	前期	57%	37%	4%	2%	102	1.51
		後期	75%	22%	3%	0%	96	1.28
児7	chromebook（クロムブック）の使い方は分かる。（教えてもらった場合も含む）	前期	81%	18%	0%	1%	102	1.21
		後期	91%	8%	1%	0%	96	1.10

千丈小学校のICT教育が進んでいるのは、ICT支援員の力が大きい。教師も児童も共にICT活用能力が向上している。ICTを効果的に活用することによって、協働的な学びを実践することができ、思考力・判断力・表現力の育成につながっていると考える。また、学習の個別最適化が可能となり、主体的な学習態度が育っている。今後も、ICT支援員の来校を継続して、ICT教育を進めることが、学力向上に不可欠である。

授業で話し合う機会をとっていきたい。

アンケート結果を見ると、どの学年も、自分の意見を書いたり、話し合いをしたりするなど主体的で対話的な深い学びが行われている。今やっていることを継続して行いたい。

授業でも、適切な活用を考えてchromebookを活用する場面が増えてきたように感じる。一方で、思考して書くことのよさもあるため、両輪で児童の力が伸ばせるようにしていきたい。家庭学習については、もっとchromebookが活用できるのではないかと思う。新聞を読んできることや調べ学習をしてくること、それらをまとめることなど、多様な課題の出し方があると思う。様々な活用に取り組んでいきたい。

4 命を大切にす教育の推進 (心の教育・防災教育・情報教育)								
児9	言葉づかいに気を付けて、友達と、話したり、遊んだりしている。	前期	72%	23%	6%	0%	102	1.34
		後期	75%	19%	6%	0%	96	1.31
児10	友達に優しく接している。(同じ学年の友達だけでなく他の学年の友達も含む)	前期	75%	21%	3%	1%	102	1.29
		後期	75%	23%	2%	0%	96	1.27
児11	学校のきまりが、守れている。	前期	71%	24%	5%	1%	102	1.36
		後期	73%	21%	3%	3%	96	1.36
児12	学校では、自分や友達の安全に気をつけて行動している。	前期	80%	15%	2%	3%	102	1.27
		後期	81%	17%	2%	0%	96	1.21
児13	学校で地震や火事が起こったとき、どういう行動をとればいいのか分かっている。	前期	84%	13%	2%	1%	102	1.20
		後期	86%	14%	0%	0%	96	1.14
児22	家の人がないときに、地震などの災害が起こったとき、どうすればいいか話をしている。	前期	38%	25%	24%	14%	102	2.13
		後期	45%	24%	11%	20%	96	2.06
児20	家で、ゲームやSNSのきまりを守って遊んでいる。	前期	82%	14%	2%	2%	102	1.24
		後期	83%	13%	2%	2%	96	1.23
保4	学校は、言葉遣いや規範意識を高めるための指導に努めている。	前期	47%	51%	2%	0%	93	1.55
		後期	57%	37%	5%	0%	91	1.48
保5	学校は、児童の安全確保や施設・設備の安全管理ができています。(感染予防対策の徹底と適切な対応を含む。)	前期	68%	32%	0%	0%	93	1.32
		後期	65%	34%	1%	0%	91	1.36
保6	学校は、自分や他の人の命を大切にす教育(心の教育・人権教育・防災教育・情報教育・交通安全教育)の推進に努めている。	前期	69%	30%	1%	0%	93	1.32
		後期	70%	27%	2%	0%	91	1.32
保7	学校は、校報やホームページ、学級通信等で情報を伝えている。	前期	82%	17%	1%	0%	93	1.19
		後期	89%	10%	1%	0%	91	1.12
保11	お子様は、明るく思いやりのある子に育てている。	前期	60%	35%	3%	1%	93	1.45
		後期	49%	49%	1%	0%	91	1.52
保12	お子様は、正しく判断し行動できる子に育てている。	前期	39%	53%	9%	0%	93	1.70
		後期	35%	59%	5%	0%	91	1.70
保18	お子様は、ゲームやSNSについて、学校や家庭のルールを守って利用している。	前期	45%	35%	17%	2%	93	1.76
		後期	37%	46%	16%	0%	91	1.79
保19	地震等の災害が起こった場合の対応を、お子様と話し合っている。(避難場所、連絡方法、保護者不在時の対応等)	前期	20%	57%	23%	0%	93	2.02
		後期	19%	59%	21%	1%	91	2.04
保20	家庭で、お子様と会話をよくしている。	前期	60%	35%	4%	0%	93	1.44
		後期	60%	38%	1%	0%	91	1.41

情報モラルの指導は、情報教育の一環として年間指導計画に位置付け、学級活動などで確実に指導していくことが必要である。

「千丈っ子にこにこ宣言」にある項目の内、友達の呼び方や正しい言葉遣いができていない児童がいる。学校は、公共の場であるので、「さん・君をつけて友達を呼ぶこと」や「正しい言葉遣いとは、相手の気持ちを想像し、思いやりのある言葉を使うこと」など継続して指導してる。しっかり理解させて、実践できるようにしていきたい。

児13、保19：災害が起こったときの対応を、学校での学習を通し児童はよく分かっているが、保護者は児童とあまり話し合っていないので共通理解が図れていない。家庭内で、災害が起こったときの対応について話し合う時間をもつことが必要だと思う。

言葉遣いについては、個人懇談等でも悪い様子を聞く。その場で注意したり、月目標の学級のめあてで具体的な内容を設定したり、道徳や集会にも取り上げたりするなど意識しているいろいろな機会を捉えて指導していきたい。

4年生社会科の防災学習において、災害が起こった際の対応について親子で話合う活動を取り入れ、マニュアル作りも行った。しかし、1回やったから意識が向上するという訳ではなく、各家庭の意識の持ち方にも大きく左右される。学期ごとに行われる避難訓練の際に、校報やメールなどで親子で話合うよう啓発を行うとよい。

パソコンの持ち帰りに伴って、使用の仕方など個人差はあるが不安が大きい。児童への指導もそうだが、家庭でも危機感を持って対応していただくよう、継続した啓発が必要である。

ゲームの時間については、繰り返し呼びかけ、確認をしていく。特に、気になる児童には、教育相談を行い、家庭との連携を図る。

ゲームやネット利用について、保護者の結果をみると、あまりできていない家庭は15件はあるが、まったく約束を守れていない家庭はないようだ。家庭によって約束は違うが、ある程度きまりをつくってコントロールしながら、付き合っているようだ。養護教諭、担任の先生達の指導のおかげだと思う。長期休暇前に、家庭のルールを確認するのが効果的なので、その活動は継続するとよいと思う。今回冬休み前に、健康委員会からの呼びかけがあったのもよかった。

言葉遣いやきまりを守れていないと自覚している児童がいるので、不適切な言動があればその場で指導し、改めることを継続していく。

規範意識や言葉遣いについての指導について、もちろん、教師が主体となって指導する場面も必要かもしれないが、子どもたちに現状や問題点、そして解決策などを話し合わせていくことを大切にしたい。そのような経験を積み重ね、「善悪のものさし」をしっかりとつくることで、それ以外の事例や言動にもそれをつなげていくことができるはずである。

健康委員会で、メディアに関するアンケートを行ったり、自由な時間が増える冬休み前に各学年に呼びかけを行ったり、保健だよりで「メディア依存」について取り上げたりしてメディアコントロール力をもった児童が育つよう取り組んだ。今後は、学校（教師と児童）ではなく、家庭（保護者と子ども）が、メディアにコントロールされない生活を送れるように、保護者と児童が共有できる方法を考えていきたい。

【ゲームやSNSの利用について、学校や家庭のルールを守っている】の項目について、守れていない児童が多い。アンケートを実施して、特に改善が必要な項目をピックアップして、学校と家庭で協調して対策を考える。生活アップカードの様子を見て、特に気になる児童については、個人懇談で個別に話をする。

【家庭で災害が起きた時の対応について話し合っている】の項目について、数値が低い。学校や学級の通信で、呼びかけを行う。家庭で掲示しておける「災害から命を守る〇か条」のようなものを配付して、災害に対する家庭の意識を高める。

5 子どものよさや可能性を伸ばす教育の推進（合い言葉は、「ぜったいにあきらめませんじょう！」）

児14	先生は、あなたのことに、気をつけてくれている。	前期	87%	11%	2%	0%	102	1.15
		後期	90%	8%	1%	1%	96	1.14
児15	困ったことやいやなことがあったとき、先生に頼ったり、相談したりすることができる。	前期	67%	28%	5%	0%	102	1.38
		後期	79%	17%	3%	1%	96	1.26
児16	むずかしいことがあっても、自分のめあてに向かって、粘り強くがんばっている。	前期	73%	22%	3%	3%	102	1.36
		後期	60%	36%	2%	1%	96	1.44
保8	教職員は、一人一人のお子様の理解に努めている。	前期	69%	29%	1%	1%	93	1.34
		後期	65%	32%	2%	1%	91	1.40
保9	お子様と教職員は、良好な信頼関係を築いている。	前期	69%	30%	0%	1%	93	1.33
		後期	71%	23%	4%	1%	91	1.35
保10	お子様は、めあてに向かって粘り強くがんばる子に育っている。	前期	46%	46%	8%	0%	93	1.61
		後期	35%	56%	9%	0%	91	1.74

保護者の厳しい評価がありました。集団のルールが守れてないなどの状態が気に入り、けじめをつける、話を聞くときは黙って聞くことなどの指導をしてきました。指導するあまり、児童の話を書くことやほめることなどができてなかったのかもしれませんが、他にもあるかもしれませんが、振り返り、改善すべきところは直していきたいと思います。

粘り強く頑張る児童を育てるために、小さな成功体験を積み重ねることができるよう、授業や様々な活動を行っていく。自信をつけさせていく。

否定的な意見があるが概ね肯定的な意見でよかった。否定的な意見を言っている子どもには、話を聞き、対応したい。

6 家庭の協力（基本的な生活習慣の育成、返事・挨拶、お手伝い）								
児8	進んで、あいさつやえしゃくをしている。	前期	66%	25%	8%	1%	102	1.44
		後期	71%	27%	2%	0%	96	1.31
児17	家で「おはよう」「いただきます」「おやすみなさい」等の基本的なあいさつをしている。	前期	64%	29%	6%	1%	102	1.44
		後期	71%	21%	6%	2%	96	1.40
児18	家では、早寝、早起き、朝ご飯を食べる、顔を洗う、歯磨きをするなど、きちんとした生活をしている。	前期	67%	24%	10%	0%	102	1.43
		後期	61%	31%	5%	2%	96	1.48
児21	家で、お手伝いをしている。	前期	43%	37%	14%	6%	102	1.82
		後期	55%	28%	11%	5%	96	1.67
保3	学校はあいさつ運動の充実に努めている。	前期	74%	24%	1%	1%	93	1.29
		後期	68%	30%	1%	1%	91	1.35
保13	お子様は、家庭で「おはよう」「いただきます」「おやすみなさい」等の基本的なあいさつをしている。	前期	69%	26%	4%	1%	93	1.38
		後期	67%	29%	4%	0%	91	1.37
保14	お子様は、早寝、早起き、朝ご飯、洗顔、歯磨き等の基本的な生活習慣が身に付いている。	前期	47%	45%	6%	1%	93	1.61
		後期	42%	47%	10%	1%	91	1.70
保15	お子様は、家で手伝いをしている	前期	28%	53%	18%	1%	93	1.92
		後期	32%	44%	21%	3%	91	1.96

6年生の中には、家庭で全く手伝いをしていない児童がいるようだ。部活やスポーツ少年団、習い事などで忙しい場合もあるが、家族に対する感謝の気持ちや、互いに助け合う気持ちを育てていくことが大切である。家族の一員として少しでも手伝いに取り組めるよう、学級で指導したり、家庭科の学習課題として取り組ませたりするなど、工夫していきたい。また、学級通信でも、保護者に協力をお願いしていきたい。

児18、保14：基本的な生活習慣が十分身に付いていると思っている児童が多いが、大人目から見るとまあまあである。大人と子どもでは、捉え方や規準が違うので、具体的にどのような所をきちんとできるようにすればいいのか保護者の意見を知り、児童への指導に生かせると良いと思う。

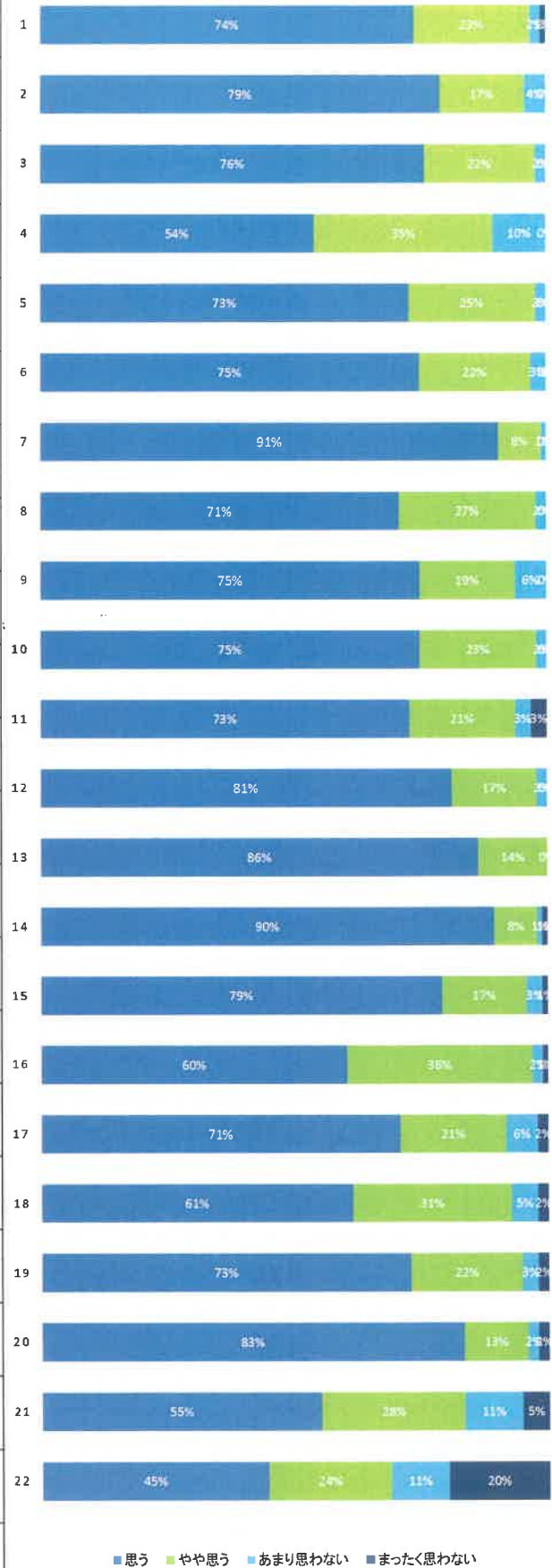
お手伝いの日、あるいは、お手伝い週間を設定して、取り組んでいく。

元気アップ週間を通して、基本的な生活習慣が身につくように取り組んでいるが、家庭差がある。家庭での教育力を育成できるような取組があれば良いと思う。

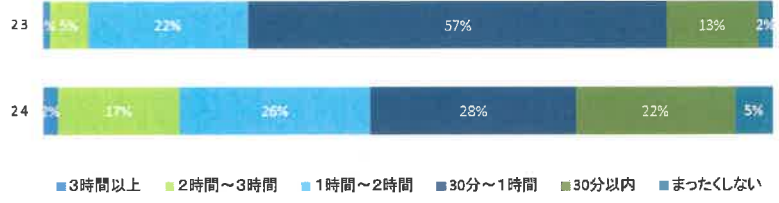
【家でお手伝いをしている】の項目について、家庭学習にお手伝いを入れる。（週に2回程度）可能であれば、端末でお手伝いをしている動画や写真を撮影して、学級や学校全体で紹介する。

令和4年度(後期)児童アンケート(1/2)		(96/100名) 回答率96%					12/20現在
		1	2	3	4	計	平均
1	学校に行くのは、楽しい。	71	22	2	1	96	1.30
2	授業には、楽しく参加している。	76	16	4	0	96	1.25
3	授業は、分かりやすい。	73	21	2	0	96	1.26
4	授業で意欲的に自分の思いや考えを発表したりノートに書いたりしている。	52	34	10	0	96	1.56
5	授業では、学級の友達と話し合う活動(ペア・グループ)をよくしている。	70	24	2	0	96	1.29
6	授業では、chromebook(クロムブック)をよく使っている。	72	21	3	0	96	1.28
7	chromebook(クロムブック)の使い方は分かる。(教えてもらった場合も含む)	87	8	1	0	96	1.10
8	進んで、あいさつやえしやくをしている。	68	26	2	0	96	1.31
9	言葉づかいに気を付けて、友達と、話したり、遊んだりしている。	72	18	6	0	96	1.31
10	友達に優しく接している。(同じ学年の友達だけでなく他の学年の友達も含む)	72	22	2	0	96	1.27
11	学校のきまりが、守れている。	70	20	3	3	96	1.36
12	学校では、自分や友達の安全に気をつけて行動している。	78	16	2	0	96	1.21
13	学校で地震や火事が起こったとき、どういう行動をとればいいのか分かっている。	83	13	0	0	96	1.14
14	先生は、あなたのことに、気をつけてくれている。	86	8	1	1	96	1.14
15	困ったことやいやなことがあったとき、先生に頼ったり、相談したりすることができる。	76	16	3	1	96	1.26
16	おずかしいことがあっても、自分のめあてに向かって、粘り強くがんばっている。	58	35	2	1	96	1.44
17	家で「おはよう」「いただきます」「おやすみなさい」等の基本的なあいさつをしている。	68	20	6	2	96	1.40
18	家では、早寝、早起き、朝ご飯を食べる、顔を洗う、歯磨きをするなど、きちんとした生活をしている。	59	30	5	2	96	1.48
19	家で、毎日、宿題や自主学習などの勉強をがんばっている。	70	21	3	2	96	1.34
20	家で、ゲームやSNSのきまりを守って遊んでいる。	80	12	2	2	96	1.23
21	家で、お手伝いをしている。	53	27	11	5	96	1.67
22	家の人がいないうちに、地震などの災害が起こったとき、どうすればいいか話している。	43	23	11	19	96	2.06

児童アンケートグラフ(1~22)



令和4年度(後期)児童アンケート(2/2)		3時間以上	2時間～3時間	1時間～2時間	30分～1時間	30分以内	まったくしない	計
23	平日(月～金)の家庭学習時間はどれくらいですか。(塾、家庭教師の時間は含む。読書は含まない。)	1	5	21	55	12	2	96
24	休日(土、日、祝日)の家庭学習時間はどれくらいですか。(塾、家庭教師の時間は含む。読書は含まない。)	2	16	25	27	21	5	96

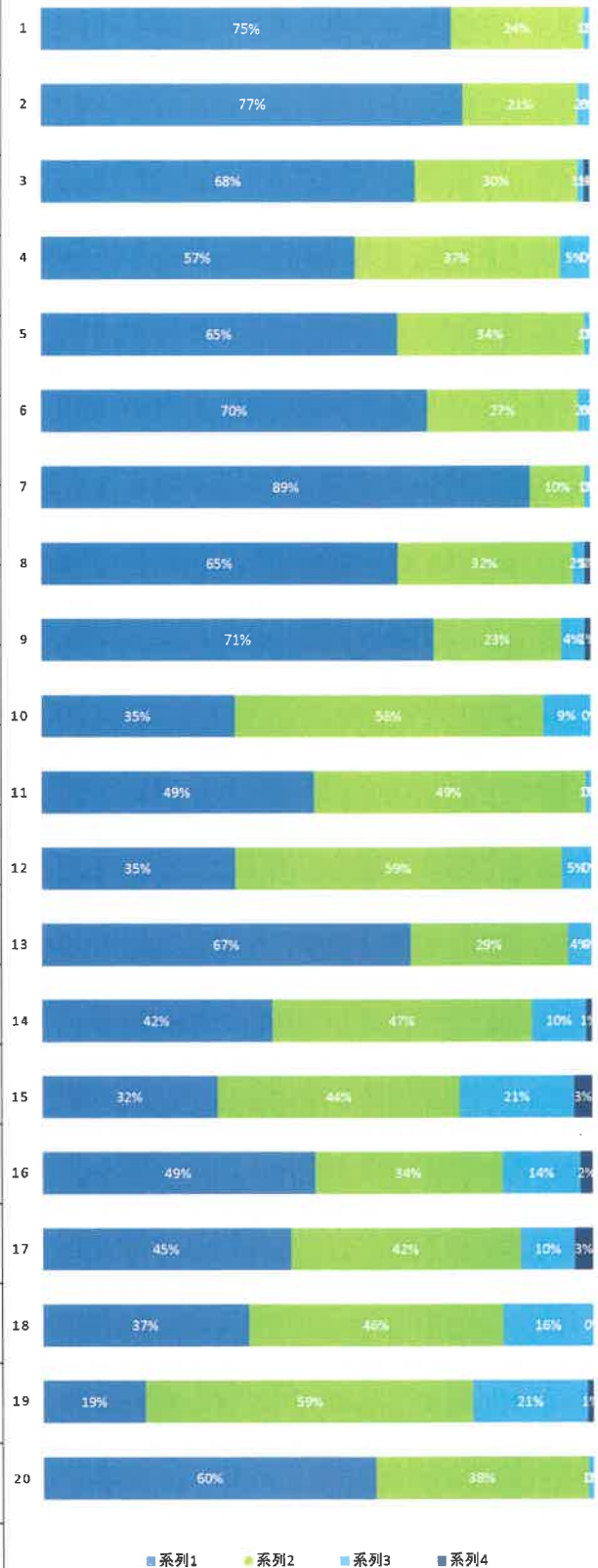


		1時間以上	30分～1時間	30分以内	まったく読まない	計
25	読書の日(月曜日)には、どれくらいの時間、本を読んでいますか。	18	46	31	1	96



令和4年度(後期)保護者アンケート(1/2)		(91/100名) 回答率91%				計	平均
		1	2	3	4		
1	1. お子様は、楽しく学校に通っている。	68	22	1	0	91	1.26
2	2. 学校は、基礎学力の定着と学力向上に努めている。	70	19	2	0	91	1.25
3	3. 学校は、あいさつ運動の充実に努めている。	62	27	1	1	91	1.35
4	4. 学校は、言葉遣いや規範意識を高めるための指導に努めている。	52	34	5	0	91	1.48
5	5. 学校は、児童の安全確保や施設・設備の安全管理ができています。(感染予防対策の徹底と適切な対応を含む。)	59	31	1	0	91	1.36
6	6. 学校は、自分や他の人の命を大切にする教育(心の教育・人権教育・防災教育・情報教育・交通安全教育)の推進に努めている。	64	25	2	0	91	1.32
7	7. 学校は、校報やホームページ、学級通信等で情報を伝えている。	81	9	1	0	91	1.12
8	8. 教職員は、一人一人のお子様の理解に努めている。	59	29	2	1	91	1.40
9	9. お子様と教職員は、良好な信頼関係を築いている。	65	21	4	1	91	1.35
10	10. お子様は、めあてに向かって粘り強くがんばる子に育っている。	32	51	8	0	91	1.74
11	11. お子様は、明るく思いやりのある子に育っている。	45	45	1	0	91	1.52
12	12. お子様は、正しく判断し行動できる子に育っている。	32	54	5	0	91	1.70
13	13. お子様は、家庭で「おはよう」「いただきます」「おやすみなさい」等の基本的なあいさつをしている。	61	26	4	0	91	1.37
14	14. お子様は、早寝、早起き、朝ご飯、洗顔、歯磨き等の基本的な生活習慣が身に付いている。	38	43	9	1	91	1.70
15	15. お子様は、家で手伝いをしている	29	40	19	3	91	1.96
16	16. お子様は、読書の日(月曜日)には、本を読んでいる。	45	31	13	2	91	1.69
17	17. お子様は、宿題や自主学習(予習・復習等)をする習慣を身に付けている。	41	38	9	3	91	1.71
18	18. お子様は、ゲームやSNSについて、学校や家庭のルールを守って利用している。	34	42	15	0	91	1.79
19	19. 地震等の災害が起こった場合の対応を、お子様と話し合っている。(避難場所、連絡方法、保護者不在時の対応等)	17	54	19	1	91	2.04
20	20. 家庭で、お子様と会話をよくしている。	55	35	1	0	91	1.41

保護者アンケートグラフ(1~20)



★学校教育をよりよいものにするために、参考にさせていただきます。学校に対するご要望、ご提案、ご意見等ありましたらご自由に、お書きください。（ご返答が必要な場合は、お名前もお書きください。）質問項目以外で考察、ご意見等があればご自由にお書きください。

1年	情報発信が効果的になされていると思う。
2年	いつも、子どもに寄り添っていただきありがとうございます。
2年	児童クラブへお迎え行った後に遊んでいる子をよく見かけます。少しだけ鉄棒、とかならまだ分かるのですが、サッカー、キャッチボールなどがたっぷり遊んでいる時もあります。他の子が遊んでいたらやはりうちの子も遊びたがり、帰るのが遅くなります。18時前のお迎えなので時間的にとても忙しいので出来れば早く帰りたいです。でもうちの子は帰るよ、というと比較的きちんと帰ります。でも他の子は遊んでいるのでホントは遊びたいと思うので可哀相かな、という思いもあります。というか遊んでいる子の親御さんが車からサッカーボールを出したり、一緒に遊んだり、疑問に思います。絶対遊ぶの禁止！とは言いませんが何かルールを決めてほしいです。
2年	子どもの思いを大切に受けとめて、学習や行事を進めていただいていると思います。丁寧な連絡にきめ細やかなご支援ありがとうございます。
3年	子供が、起こった出来事を先生に伝えたのに、信じてもらえなかったことがありました。これが命に関わることだったらとても怖いと思います。些細なことでも、しっかりと子供達が言う事を聞いていただきたいです。
3年	体育の時間、マスクを着用していない時は 児童と児童の間隔を充分にとって 授業をしてほしいです。コロナの感染者が増えているので、私個人としては 黙食を続けてもらいたいと思っています。
4年	学習発表会では、感染対策等しっかり努め、観覧者も増やすなどの対応もしてくださり、久々の家族、祖父母が集えた機会になったのではないかと感じました。先生方のご尽力の賜物と感しております。いつもありがとうございます。
4年	学習の仕方や毎日の学習習慣をつけることができるような課題の出し方をいただいています。学習への取り組み方を学べたと思います。担任の先生をはじめ学力向上主任の先生等、学校全体で取り組んでいただいて感謝しています。
4年	自主学習の内容が学年全体でレベルアップしていると感じます。よいお手本を紹介していただいたり、わずかでも進歩した点を褒めて認めていただいたりして、学年全体で成長しているんだなあと思います。自主学習ノートをほめてもらったときは、うれしそうに家庭でも報告してくれます。ありがとうございます。
4年	学習発表会では、先生に励ましていただきながら、役にチャレンジすることができました。本人だけでは選ぶことがなかったであろう役を勧めていただいたこともうれしかったです。発表を終えて、自分にもできるんだと自信につながりました。ご指導ありがとうございました。劇は全員見せ場があって、とてもおもしろかったです。みんなの成長を感じる舞台でした。
5年	いつもお世話になっております。 今年度早々から、ご心配をおかけしていますが、2学期から学校が楽しくなったようです。
5年	楽しそうに学校に通っています。先生方のおかげです。ありがとうございます。
5年	児童数の減少により、一人で下校するケースも増えてきています。安全のため通学バスの柔軟な運用や、低学年が高学年の児童と一緒に下校できるよう時間調整する工夫などがあればいいかもしれません。
5年	いつも明るく元気、そして時に厳しく時に温かくご指導くださる学級担任の先生のおかげで、何事も前向きに頑張っています。これからもよろしく願います。

保護者の皆様からの自由記述についての回答

2年	<p>児童クラブへお迎え行った後に遊んでいる子をよく見かけます。少しだけ鉄棒、とかならまだ分かるのですが、サッカー、キャッチボールなどがつつり遊んでいる時もあります。他の子が遊んでいたらやはりうちの子も遊びたがり、帰るのが遅くなります。18時前のお迎えなので時間的にとても忙しいので出来れば早く帰りたいです。でもうちの子は帰るよ、というと比較的きちんと帰ります。でも他の子は遊んでいるのでホントは遊びたいと思うので可哀相かな、という思いもあります。というか遊んでいる子の親御さんが車からサッカーボールを出したり、一緒に遊んだり、疑問に思います。絶対遊ぶの禁止とは言いませんが何かルールを決めてほしいです。</p>
	<p>〈回答〉 放課後や児童クラブのお迎え後の対応は、各ご家庭にお任せするところとなります。各ご家庭でご事情や考え方も異なりますので、一律の対応を学校からお願いすることは難しいです。児童クラブにも、ご意見をお伝えします。</p>
3年	<p>子供が、起こった出来事を先生に伝えたのに、信じてもらえなかったことがありました。これが命に関わることだったらとても怖いと思います。些細なことでも、しっかりと子供達が言う事を聞いていただきたいです。</p>
	<p>〈回答〉 申し訳ありません。不十分な対応で、ご心配をお掛けいたしました。常に、児童の言葉に耳を傾け、寄り添った対応ができますよう気を付けます。お子様のことで気になることがありましたら、遠慮なく学級担任にお知らせください</p>
3年	<p>体育の時間、マスクを着用していない時は 児童と児童の間隔を充分にとって 授業をしてほしいです。コロナの感染者が増えているので、私個人としては 黙食を続けてもらいたいと思っています。</p>
	<p>〈回答〉 体育の授業では、文部科学省からの指示に従い、呼気の激しくなる運動の際は、マスクを外す措置をとっておりました。また、マット運動や跳び箱運動等で補助をする場合など、距離が近くなる学習については、マスクを着用して行っておりました。しかし、種目によっては、人と人と距離が近くなってしまった場合もあります。ご心配をお掛けいたしました。以後気を付けます。給食については、黙食を継続して行っております。</p>
5年	<p>児童数の減少により、一人で下校するケースも増えてきています。安全のため通学バスの柔軟な運用や、低学年が高学年の児童と一緒に下校できるよう時間調整する工夫などがあればいいかもしれません。</p>
	<p>〈回答〉 申し訳ありません。児童の減少による一人下校の不安については、考慮をしておりませんでした。ご指摘の通り、児童の安全に向けての対策が必要です。時間的な制約や人員、予算等の兼ね合いもあり、なかなか難しい課題ではありますが、検討をいたします。よい方法がございましたら、ご提案をよろしくお願ひいたします。※通学バスの柔軟な運用は、難しいです。</p>

令和4年度(後期)教職員アンケート		1	2	3	4	計
1	1.学校の教育目標【「つよく、やさしく、きまりよく生きる」千丈の子を育てる】の達成に向けて、指導や支援に努めたか。	8	2	0	0	10
2	2.学習指導において、基礎・基本の確実な定着・向上に努めたか。	6	2	0	0	8
3	3.分かりやすい授業を心掛け、授業改善に努めたか。	6	3	0	0	9
4	4.主体的に考え、共に学び合う児童の育成(研究主題)に努めたか。	4	5	0	0	9
5	5.教育活動中でのICT機器の効果的な活用に努めたか。	4	5	0	0	9
6	6.命を大切にする教育の推進(心の教育・防災教育・情報教育・交通安全教育)に努めたか。	4	5	0	0	9
7	7.教師自身が明るくさわやかな挨拶や返事をするを心掛けるとともに、児童への挨拶や返事の指導に努めたか。	7	3	0	0	10
8	8.児童の間違った行動に対して、毅然とした態度で指導するように努めたか。	8	2	0	0	10
9	9.人権・同和教育の充実・改善に努め、児童が豊かな心をもてるよう、指導や支援に努めたか。	5	5	0	0	10
10	10.児童の自尊感情を高めるために、一人一人を大切にする指導や支援に努めたか。	8	1	1	0	10
11	11.生徒指導上の問題(いじめ、非行、不登校等)の未然防止に向けた指導や支援に努めたか。	8	2	0	0	10
12	12.安全な学校環境作りに努めたか。	6	4	0	0	10
13	13.危機管理意識をもち、子どもの安全確保に努めたか。(新型コロナや熱中症の対応も含む)	5	5	0	0	10
14	14.児童は、「めあてに向かって粘り強くがんばる子」に育っている。	6	4	0	0	10
15	15.児童は、「明るく思いやりのある子」に育っている。	7	3	0	0	10
16	16.児童は、「正しく判断し行動できる子」に育っている。	2	8	0	0	10
17	17.家庭と連携し、児童の学力向上や基本的な生活習慣の育成に努めたか。	5	3	0	0	8
18	18.家庭と連携し、生徒指導上の問題についての早期対応に努めたか。	6	1	0	0	7
19	19.家庭・地域と連携をとり、信頼される学校作りに努めたか。	6	4	0	0	10
20	20.ワークライフバランスを考え、家庭と仕事の両立に努めたか。	5	4	1	0	10
21	21.働き方改革の意識をもち、業務改善、負担軽減となるよう努めたか。	4	5	1	0	10
22	22.公文書や表簿類の適切な保管や正確かつ迅速な事務処理に努めたか。	8	2	0	0	10

教職員アンケートグラフ(1~22)



番号	自由記述
	先生方に伝えたい内容については、ホワイトボードでは困っている内容が理解ができないため、同じことを繰り返し兼ねない。終礼や職員会で具体的に伝えてほしい。
	来年度は、教員の数が減ることが予想されるので、今年度中に業務内容で削れるものは削り、負担が減るように考えておく方がよい。

教育計画に基づいた番号	
	学校目標・校訓 (1 14 15 16)
	学習指導 (2 3 4 5)
	心の教育 (6 9 10)
	生徒指導 (7 8 11)
	安全・安心 (12 13)
	家庭との連携 (17 18 19)
	働き方改革 (20 21)
	事務管理 (22)
	<p>考察</p> <ul style="list-style-type: none"> ・どの項目においても8～9割教職員が肯定的な回答となっているが、悩みを抱える教職員がいないか目配り気配りをし、個に応じた配慮をしていきたい。 ・ワークライフバランスや働き方改革については、肯定的な回答が多い。意見にもあるが、来年度は教職員数が減る可能性が高い。行事・会議の精選、業務のICT化等を行うとともに、一人一人の意識改革も図り、思い切った負担軽減策を考えたい。 ・職員朝礼を行わないことは、業務改善の手立てと一つとして大変有効ではあるが、細かな部分の全体への周知などがうまく行かない場合もある。「報告・連絡・相談」をしっかりと行うことや、伝達事項の周知方法（現在は前面のホワイトボード）の工夫をし、教職員のコミュニケーションが十分に図れる職場環境としていきたい。

《 MEMO 》

A memo template consisting of a large rectangular box. The top of the box is defined by a solid line. Below this line is a dashed horizontal line, serving as a header separator. The remaining space within the box is filled with 18 horizontal dashed lines, providing a guide for writing the memo's content.